

2025年1月実績概要（メモ）

（2025. 2. 20）

オレフィンの供給が低位で推移する中、誘導品の生産は合成樹脂で増産となる品目も出始める。

1. 生産動向

イ) エチレン 465, 600トン

前月比 ▲0.2% (▲1,100トン)

前年同月比 ▲2.3% (▲11,100トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	—	—
定修要因等	▲ 2.7%	▲ 2.7
能力増減	—	—
稼働率変動	+ 2.5%	+ 0.4%
生産増減率	▲ 0.2%	▲ 2.3%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月78.6%* → 当月80.6% ← 前年同月80.3%

定修プラント：前月 なし → 当月 なし ← 前年同月 なし

ロ) 主な石油化学製品

前月比は、主に稼働率要因から LDPE、PP、PS、塩ビモノマー、トルエンなどの6品目がプラス。MMAモノマー、EO、EG、キシレンなどの11品目はマイナスとなった。

前年比は、定修規模差や稼働率要因等から、MMAモノマー、EO、EG、AN、ベンゼン、キシレンなどの13品目がマイナス。HDPE、PSなどの4品目のみはプラスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LDPE、HDPE、PP、PS）

イ) 生産

前月比は、定修規模差や稼働率要因から、LDPE、PP、PSはプラス、HDPEはマイナスとなった。

前年比は、稼働率要因等から LDPE、HDPE、PSはプラス。PPは若干のマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

消費マインドは、前月に続いて暮らし向きや耐久消費財の購入で消極的な面も見られ、足踏みの傾向が続いている。国内の生産活動に関しては、1月の予測では、輸送機械を中心に増加が見込まれているが、国内の生産活動のトレンドとしては強気が維持されながらもいささか力強さを欠いている。

汎用樹脂の出荷は、前月比は、年始休暇に伴うユーザー側の稼働日の減少から、LDPE、HDPE、PP、PSの4樹脂でマイナスとなった。前年比は、LDPE、PP、PSが若干のプラス、HDPEはマイナスとなった。

分野別の出荷状況としては、フィルム等の包材分野は、前年比で LDPE、PPはマイナスとなる一方、HDPE、PSはプラスとなった。包材以外の分野では、前年比で、HDPEの中空成形分野、PPの射出成形分野がプラスとなったほか、PSでは雑貨産業用、FS分野ともにプラスとなった。

ハ) 輸出

原料情勢で上昇気配が見られているが、アジア各国での旧正月休暇前の取引停滞や通商上の先行き懸念もあり、LDPE、HDPE、PPは前月比、前年比ともに大幅なマイナスとなった。PSのみは前月比、前年比ともにプラスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、前月に対して、LDPE、HDPE、PP、PSで増加した。在庫率(季節調整済)は、LDPE、HDPEは上昇、PP、PSは低下した。在庫水準としては、LDPE、HDPEは高め、PP、PSはほぼ適正範囲となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		12月末	1月末
LDPE	+28,200	3.4	3.6
HDPE	+15,000	3.7	3.9
P P	+40,700	3.1	3.0
P S	+2,800	1.7	1.6

前月からの修正を*で付記

以上